



つないできた思い

生涯学習課長 中澤 芳子

2025年は、昭和元年からちょうど100年目にあたります。昭和、平成、令和と時代が移り変わる中、本市では、昭和の時代から青少年の健全育成を目的とした、歴史と伝統あるイベントが数多く開催され、市民に親しまれてきました。これらのイベントは地域の文化として、子供の心を育む大切な役割を果たしています。



5月には、第41回「沼津こいのぼりフェスティバル」が狩野川河川敷で開催されました。こいのぼりの掲揚が始まると幅広い世代の方々がカメラを片手に雄大な景観を楽しむ姿が見られ、多彩なブースが並

【5/4 こいのぼりフェスティバル】 んだふれあいイベントでは、多くの家族連れでにぎわいました。

6月には、第44回「沼津市わたしの主張大会」が開催され、市内19中学校の代表者が、自身の体験を通じて得た気づきや抱いた志を力強く語り、観客に深い感動と気づきを与えてくれました。この大会の様子は市公式YouTube（右QRコード）で配信予定ですので、ぜひお楽しみください。

また、沼津市子ども会育成連絡協議会が主催する「砂の造形大会」は第49回、「球技大会」は、ソフトボールやポートボールの時代を経て、現在は種目を男女混合ドッジボールに形を変えて、第64回を迎えます。



比較的新しいイベントとしては、28回目を迎える「子どもの遊び王国in沼津」があります。これからどのような歴史を紡いでいくのか期待が高まります。今年も10月に愛鷹広域公園で開催予定ですので、ぜひご来場ください。



【6/8 砂の造形大会】

こうしたイベントは、時代の流れとともにその形を変えながらも、自然との触れ合い、多様な人々との交流、仲間との絆を通じて子供たちの心を育むという根本的な目的は変わっていません。それらは、地域の方々や関係団体、ボランティアの皆様が熱心な思いを持って子供たちに体験を伝え、次世代に継続していきたいと願う情熱によって支えられてきました。その活動に対し、心から感謝を申し上げます。

これからも、時代とともにつないできた思いを大切に、地域の未来を担う子供たちが笑顔で過ごせる環境を作り続けたいものです。皆様のご参加とご支援をお待ちしています。

面接相談 & 電話相談

◎非行・不登校・発達・子育て・進路・対人関係など、青少年に関する相談を直接（面接）または電話で行うことができます。



1 面接相談

◎相談受付時間…午前9時～午後5時 月～金曜日（祝祭日を除く）Tel.951-3440

「はばたき だより」第2号より

新しい環境に慣れ始めた一方で、疲れや不安を感じることもあるかもしれません。そんなときは、一人で抱え込まずに、どうぞお気軽に青少年教育センターへ御相談ください。相談員が寄り添いながら一緒に考えてまいります。

☎055-951-3440 *月～金 9:00～17:00

青少年教育センター（沼津市八幡町97）の4階に面接室があります。

保健センターと同じ建物です。

*電話相談「やまびこ電話」（匿名相談を受付）もぜひご利用ください。

☎055-951-7330 *月～金 10:00～19:00

2 電話相談（愛称：やまびこ電話 951-7330）

◎相談受付時間……午前10時～午後7時 月～金曜日（祝日を除く）



情報コーナー

「ミラーニューロン」

青少年教育センター 臨床心理士 林 彩子

「ミラーニューロン」とは、別名「ものまね細胞」とも言われる神経細胞で、他者の行動を観察した際に、あたかも自分がその行動をしているかのように脳内で再現する神経細胞です。まるで鏡に映したように同じ反応をすることから「ミラーニューロン」と名づけられました。相手が泣いているのを見てもらい泣きしたり、誰かがあくびをするのを見たときに、自分もつられてあくびをしたりするのは、無意識にものまねする「ミラーニューロン」の働きの良い例といえます。



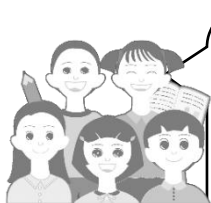
学校では、先生が子どもを指導していたら、その子とは別の子どもが泣き出すという場面を見かけることがあります。これも「ミラーニューロン」の働きによる可能性が考えられます。「ミラーニューロン」は動作だけでなく、感情にも関係しており、他者の感情をまるで自分事のように理解して、共感する力を促進する働きもあります。脳科学的な視点では、この子どもは、指導されている子どもを見て自分が指導されているように感じて泣き出したと考えられます。

「ミラーニューロン」との関連が指摘されている「情動感染」の研究では、身近にネガティブな人がいる場合は自分自身もネガティブになってしまう可能性が高まるという話があります。不安やイライラなどのネガティブな感情の方がポジティブな感情よりも伝わりやすいとのことですが、一人でも笑顔の人がいれば、その人からポジティブな影響が伝わる可能性があると思います。

私たち大人は、忙しさのあまり眉間に皺がよりがちですが、なるべく笑顔を忘れずに過ごせる人が増えることを願っています（自戒を込めて）。

口角を上げて笑顔を作ると脳が「楽しい」と認識するという説があるので、まずはご自身の負担にならない範囲で、例えば、挨拶の時に口角を上げることを意識してみてください。





【はばたき】 【相談指導学級】 の様子

【体験活動「はばたき」】

(通称：はばたき活動)

5/8(木)公園で遊ぼう(2人)
5/20(火)びゅうおに行こう(3人)
6/12(木)点つなぎに挑戦(2人)
6/25(水)佐野美術館に行こう(4人)

はばたき活動は、1対1の面接相談とは異なり、他の通所者や担当以外の職員とも関わるができる小集団活動です。

「公園で遊ぼう」では、近くの公園に行き、参加者と職員と一緒に鬼ごっこなどのレクリエーションに取り組み、楽しいひとときを過ごしました。

「びゅうおに行こう」では、初対面の通所者もいましたが、遠足のような楽しい活動となりました。



【5/20 出発前の会】

「点つなぎに挑戦」では、最初は何が描かれているかわからない状態から徐々に絵が完成していく達成感を味わうことができました。

「佐野美術館に行こう」では、昆虫の写真展を熱心に観賞したり、参加者が本所職員に写真の撮り方を教えたりする姿が見られ、有意義な活動となりました。

【相談指導学級】(通称：はばたき教室)

はばたき教室を利用できるお子さんは、小学校1年生から中学校3年生までです。毎年、年度初めはもちろん、学期途中にもメンバーの入れ替わりがかなりあり、個々にその要求や期待は違います。その多様なニーズに応えられるよう、この4月から、部屋を一つ増設しました。二つの部屋の名称は、「スタディルーム」と「わくわくルーム」です。

「スタディルーム」はこれまでの学級を踏襲したもので、学習や読書、パズル、イラスト、オンライン学習などに静かに取り組める部屋です。それに対し「わくわくルーム」は新たに設けた部屋で、創作活動や遊びなど自分の「好き」を楽しみながら、自然と交流が生まれ、新しいことに出会えたり、相談員と笑い合えたりする時間が待っている部屋です。大まかにいえば、「スタディルーム」は学習に重きを置き、「わくわくルーム」は利用した子供たちが楽しい時間を過ごすことできるような配慮や工夫をしている所です。二つの部屋を設けることで、小学校低・中学年の子供にも相談指導学級が利用しやすくなったと思います。



どちらの部屋も利用できる時間は9時から4時までで、どの程度の頻度で通うか、どの時間帯を利用するかは、子供自身が決めます。今は、週3日程度午前の時間帯を利用する子供が多く見られます。

青少年教育センターの活動予定 (8・9・10月の主な活動)

はばたき活動		補導関係	
9月11日(木)	源兵衛川に行こう	9月12日(金)	補導委員会代表者会
9月24日(水)	プラバンづくりに挑戦		感謝状贈呈式
10月9日(木)	富士サファリパーク・富士山こどもの国に行こう	10月28日(火)	青色防犯パトロール講習会
10月24日(金)	買い物ツアー(イーラde) *夏休み中の活動はありません。		
中央街頭補導	8月 1(金) 8(金) 15(金) 19(火) 20(水) 26(火) 27(水) 9月 3(水) 5(金) 9(火) 16(火) 17(水) 24(水) 26(金) 30(火) 10月 1(水) 3(金) 7(火) 8(水) 14(火) 15(水) 17(金) 22(水) 24(金)		

*天候等により、変更をすることがあります。

補導記録より 4月～6月

- ・BⅡ2階駐車場奥で、高校女子4名グループがダンス動画を撮影していたので声かけ。
- ・駅南駐輪場で管理人さんと話をしているとき、通りかかった高校生が何人もあいさつをしてくれるので、温かい気持ちになった。
- ・金曜日の夜だからか人の出が多かった。部活帰りの高校生は、疲れているようだったが気持ちのいいあいさつを返してくれた。
- ・自転車から降りて信号待ちをしている小学生男子に、気をつけて帰ってねと初めて愛の声かけをした。
- ・片浜北公園にて、午後8時前に中学生2人がサッカーをしていたので、気をつけて帰るように声かけ。
- ・中学女子3人が、公園で猫の世話をしていたので、帰宅を促した。



【6/24 火曜補導】

補導の目



令和7年度補導活動の充実を目指して

～補導のしおり作成や活動報告方法の変更～

青少年教育センター 勝呂 早奈恵

令和7年度の沼津市補導委員会の補導体制は、18地区の「青少年を健やかに育てる会」から推薦される228名の補導委員の委嘱を受けて、補導活動をスタートしました。

本年度も青少年の健全育成のため、また犯罪の被害や非行から子供たちを守るため、地域の皆様の御協力をよろしくお願いします。

さて、青少年教育センターの補導活動について、去る5月12日（月）、15日（木）に新任補導委員研修が行われました。これは、令和7年度、補導委員を受けてくださった88名の地区補導委員のうち、初めて補導活動を行う方にご参加をいただきました。補導活動の考え方や青少年への声かけの仕方など内容の見直しを図り、新たに「補導のしおり」を作成しました。今年度、新任補導委員研修を受けてくださった方を含む228名の方に配布しました。



【5/12 新任補導委員研修会講話】

新たに補導活動に携わる方もこれまで活動に携わっている方も、このしおりを一読し、補導活動についてひとつひとつ確認しながら活用していただけたら幸いです。

また、地区補導の活動報告の仕方が新しくなりました。郵送やFAX、メールでの報告から、スマホやパソコンから報告していただけるようになりました。郵送等での報告の負担を軽減し、すみやかに活動報告をしていただけるようにするためのものです。新しい報告方法に際しては、前年度より地区代表者の皆さんに



【5/9 委嘱状交付】

代表者会議の中で動作確認のご協力をいただき、スタートしました。

これまで地域の方々のご協力のもと、この補導活動が継続されています。今年度より、新たにスタートした活動報告や「補導のしおり」をお手元においてご利用いただき、ひとりでも多くの青少年に「愛の声かけ」をしてくださるようお願いいたします。

◎青少年教育センター「たより」についての御意見、御感想等がございましたら、メールでお寄せください。

メールアドレス seisyonen@city.numazu.lg.jp

